

あなたと議会の情報ネットワーク

おおぞら21

熊本県・みふね町議会

寒波襲来で雪化粧した下鶴眼鏡橋
(1月26日)

No.185
1月議会
R5.2

恐竜博物館を所管事務調査

総務文教常任委員会 委員長 清水 聖

9月議会から12月議会までの森田議員の一般質問の答弁に対して、執行部より回答がないため、1月12日に恐竜博物館の所管事務調査を行った。

まず、委員全員で調査内容の共通理解をはかった後、恐竜博物館へ移動し、館長でもある教育長、他3名にヒアリングを実施した。調査内容は下記のとおり。

①組織の役割分担

- ・教育委員会組織の中での恐竜博物館の位置づけ
- ・教育長と館長の業務のすみわけ

②グッズ販売の棚おろし

- ・在庫の管理
- ・決算のデータについて

③特別展

- ・特別展時の交流ギャラリーの減免について
- ・特別展の収支決算について

④議会答弁

- ・なぜ今まで答弁できていないのか。

今回の調査においても納得のいく回答が得られなかった部分もあり、3月の議会までの回答を求めて会は終了した。



調査内容の共通理解をはかる委員ら



恐竜博物館にてヒアリング



視察受入

1月31日

福岡県水巻町議会 会派視察研修

「熊本地震の被害と復興について」
総務課地域防災係が対応しました。



御船町議会を訪問！

崇城大学『異分野イノベーション』の講義では、学生が企業や地方の方々と連携し、社会が抱える“生きた課題”の解決を目指す。私たちのグループでは“若者に政治を知ってもらおう”との思いから御船町議会の方々と連携し、学生目線での広報活動を行う。



議員と情報交換を行う崇城大学生

委員会を傍聴した感想

初めは、物音一つも立ててはいけな
いような“重苦しい雰囲気”に圧倒され、
とても緊張しました。傍聴している自
分たちも、気を引き締めて、議題につ
いて考えながら見学しました。途中か
ら委員会の空気に慣れてくると、議題
が分かるようになり、疑問点を持つ内
容に関して次々と質問する議員の姿か
ら、この議題の重要性を理解できるよ
うになりました。

議題の具体的な内容はまだわかりま
せんが、このような貴重な経験を通さ
なければ知ることができない雰囲気も
あるため、自分自身の考えを改める良
い機会を得たと感じています。

今回の経験を通して、私たちは実際に足を運び、議員の活動を見学することが議会の活動を知るための最も良い方法であると考えます。

「音楽の町」 ～音楽でつなぐ～

御船小学校に通っていた長女が金管バンド部に入学したのは10年前。私が子ども達の「音楽」に携わるようになったのはその時からでした。

運動部活動が学校教育から社会体育へ移行して行く中、令和元年度には文化部である「金管バンド部」を社会教育で継続か、廃部かという壁に直面しました。

長い歴史と伝統のある御船小学校金管バンド部を廃部にしてしまふのはとても残念なこと、少しでも興味がある子ども達の学ぶ場が無くなるのがとても残念に思ふ、社会教育として継続。名称を「MIFUNE J. Brass Band」と改名、専属の指導者をお招きし、私は事務局として会に携わることにしました。

現在は「御船小学校」の括りを外し、町内の小学校3年～6年の

男女児童を対象に入会を募り、現在御船小20名、木倉小1名の21名で活動しています。

地域の皆様や音大の先生、ボランティアの音大生さんにもご支援いただき、心から感謝しています。

御船町には中学・高校と吹奏楽部があります。そして音楽大学もあります。まさに「音楽の町」。このように環境が整っている町も他にあります。

年月と共に社会情勢も変化し、様々なことが日々変わっていく時代です。

これからも『よそん子も我が子』をモットーに、一親として、一地域住民として、子ども達と一緒に学び、成長する事。そして、これから子ども達の目標や夢を持つきっかけ作りのお手伝いができればと思います。



中辺田見
竹下 渉

議会の予定 3月

3日(金) 全協(予定)
 9日(木) 議会(予定)
 17日(金)

議会HPはこちら



(2月3日上野保育園)

モニターコラム

風

関心を持って

「議会モニターってナン？」友人知人からよく聞かれる様になりました。御船町議会モニターは平成22年4月に設置され、要件は満18歳以上の町民であり、町職員でない者、町議会、町政及び地域社会の発展に関心がある者です。私は昭和56年生まれ、高木保育園、高木小学校、御船中学校と高校は市内に通い、海外留学も経験し、今では消防団、商工会青年部、高木小PTA役員などの活動をしています。町議会の事はあまり知り

ませんでした。昨年夏に町議の方から議会モニターの薦めもあり応募して9月に議会モニターになりました。何事も関心を持って一歩入ると勉強になり、楽しく町の事業計画・過程や町議会の取組み、他の市町村の事も知ることが出来ます。町長が掲げているわくわくする地域作りには私達子育て世代も関心を持ち議会町政に参加する事が大切だと思うようになりました。



濱 和幸
議会モニター